

鎌倉時代は1185年か？1192年か？

千葉県中学歴史教科書読み比べ会 オフィシャルサイト: <https://kyokasyoyokunare.jimdo.com/>

中学歴史教科書 読み比べ

平成31年
4月12日(金)
第6号

〈発行者〉
千葉県
中学歴史教科書
読み比べ会

〈連絡先電話〉
070-6941-1941



(上) 伝源頼朝肖像画
(下) 足利尊氏像
(自由社版中学歴史教科書より)

【はじめに】

平成三〇年一月、千葉県立のある学校で、校長や教頭らが生徒の下校後、授業で配布したプリントを無断で生徒の個人用ファイルから抜き取り、廃棄していたという事件が起きた。学校側の説明によると、道徳の授業を担当した教員が皇室について考えてもらうために作成したプリントに、『外国に誇れる文化の最たるものが皇室』と記述するなど教員の主観が強く出ており、問題だったとしている。(出典「産経新聞」)

尚、このプリントは、天皇陛下の正しい呼び方、ご家族、お誕生日、お名前、お住まいなど、皇室に関するごく初歩的な知識を学習するための内容となっているが、そこに何ら問題は見い出せなかった。それにしてもなぜ校長や教頭らは『外国に誇れる文化の最たるものが皇室』という一言に、これほどまでに過剰に反応したのだろうか？いかなる理由があるにせよ、生徒に範を示す立場の教育者が、無断で生徒の個人用ファイルからプリントを抜き取り廃棄したというのは、明らかに職権の乱用であり、言語道断である。

前置きが多少長くなったが、今回は武家社会の各時代の始まりが、教科書各社によって異なっているという問題について見てゆきたい。それが先の校長や教頭に見られる皇室に対する過剰な反応と、無関係ではないと思えるからである。

以下、東京書籍、教育出版、帝国書院、自由社の順に引用する。

【東京書籍】

「鎌倉幕府の始まり」本文七〇頁

「一八五年に、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を置くことを認めさせました。こうして頼朝は、本格的な武士の政権である鎌倉幕府を開きました。これ以後、鎌倉に幕府が置かれた時代を鎌倉時代といいます。」

「鎌倉幕府の始まり」欄外七〇頁

「①鎌倉幕府の成立時期については諸説があり、一一八五年のほかに、一一八三年に頼朝が東日本の支配権を朝廷に認められた時期や、一一九二年に頼朝が征夷大將軍に任命された時期などを考える説があります。」

「南北朝の動乱」本文七八頁

「尊氏は一三三八年に北朝から征夷大將軍に任命されて室町幕府を開くと、守護の権限を強め、全国の武士をまとめようとしました。…京都に幕府が置かれた時代を室町時代といいます。」

「江戸幕府の成立」本文一一二頁

「一六〇三年、家康は朝廷から征夷大將軍に任命され、江戸(東京)に幕府を開きました。江戸幕府は、一六〇〇年余りも続く戦乱のない平和な時代を作り上げました。この時代を江戸時代といいます。」

【教育出版】

「鎌倉幕府の成立」本文五八頁

「その後、奥州藤原氏をほろぼした頼朝は、一一九二年、朝廷から征夷大將軍に任命され、全国の武士を従える地位に就きました。頼朝が始めたこの政府を鎌倉幕府といいます。」

「室町幕府の成立と守護大名」本文七〇〜七一頁

「一三三八年、足利尊氏は、北朝から征夷大將軍に任命され、京都に幕府を開きました。…義満は京都の室町に御所を建てて政治を行ったことから、足利氏の開いた幕府を室町幕府といい、幕府の続いた時代を室町時代といいます。」

「江戸幕府の成立」本文一〇四頁

「豊臣秀吉の死後、関東を領地としていた徳川家康が勢力を強め、政治を動かすようになりました。…家康は一六〇三年、征夷大將軍に任命されて江戸幕府を開くと、まもなく將軍職

を子の秀忠にゆずり、徳川氏が代々將軍になることを示しました。さらに、大阪城を攻めて豊臣氏をほろぼし、徳川氏の全国支配を確立しました。江戸に幕府が置かれた二六〇年あまりを、江戸時代といえます。」

【帝国書院】

「鎌倉幕府の成立」本文五六頁

「…頼朝は、一一九二年に征夷大將軍となり、武士による新しい政治を始めました。」

「鎌倉幕府の成立」欄外五六頁

「①鎌倉時代の始まりをいつにするかは諸説あります。一一八五年に守護・地頭をおいた時期という説や、一一九二年に頼朝が征夷大將軍に任命された時期という説などがあります。」

「動乱の半世紀」本文六六～六七頁

「…一三三八年、尊氏は新しい天皇を即位させ(北朝)、自分は征夷大將軍となって京都に幕府を開きました。…義満が京都の室町に御所をかまえたので、足利氏の幕府を室町幕府といい、足利氏の幕府が続いていた時期を室町時代といいます。」

「江戸時代の幕開け」本文一〇二頁

「…一六〇三年に朝廷から征夷大將軍に任命された家康は、江戸(東京都)に幕府を開きました(江戸幕府)。江戸時代の始まりです。」

【自由社】

「鎌倉幕府の成立」本文八四頁

「…一一九二(建久三)年、頼朝は朝廷から征夷大將軍に任命された。頼朝は鎌倉に、簡素で実際的な武家政治の拠点を築いた。これを鎌倉幕府とよび、鎌倉に幕府が置かれた約一四〇年間を、鎌倉時代という。」

「室町幕府の成立」本文九四頁

「…次いで、一三三八(暦応元)年には、北朝の天皇から征夷大將軍に任じられ、京都に幕府を開いた。…この幕府を室町幕府とよび、政治の中心を足利氏が占めていた二三七年間を室町時代という。」

「徳川家康と江戸幕府」本文一二四頁

「…一六〇三(慶長八)年、家康は朝廷から征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開いた。…徳川氏が將軍として一五代にわたって統治し、大規模な戦乱のなかった約二六〇年間を江戸時代という。」

武家社会の各時代の始まりが、教科書各社によって異なっているという問題は、将来に亘って歴史の混乱を招きかねない問題である。

鎌倉、室町、江戸の各時代の始まりは、これまで通り朝廷から各武

將が征夷大將軍に任命され、幕府を開いた時に始まるとすべきである。

その意味からすれば、東京書籍と帝国書院は、鎌倉時代の成立を欄外で諸説ありとしているが、これでは時代の始まりの根拠がまったく曖昧になってしまう。その一方で、両社は江戸時代の始まりが、朝廷から征夷大將軍に任命され、幕府を開いたことをもって始まるとしており、鎌倉時代の始まりの根拠と整合性がとれていない。

教育出版は、鎌倉時代と室町時代の始まりは、朝廷から各武將が征夷大將軍に任命され、幕府を開いたことが始まりとして始まっているもの、江戸時代にはそれが省略されている。

自由社は、鎌倉時代と室町時代と江戸時代の始まりが、朝廷から各武將が征夷大將軍に任命され、幕府を開いたことが始まりであると一貫して記述されており評価できる。

武家社会の時代においても、幕府が権力を行使するためのバックボーンとなっていたのは、朝廷(皇室)の権威に他ならない。これは、我が国の歴史に厳然と刻まれた事実であり、主観的な見解ではない。

戦後の歴史教育は、事実よりも「戦前」や「皇室」への感情的な忌避意識が優先する特異な状況が続いて来た。

冒頭に紹介した県立のある学校の校長や教頭が生徒の私物を無断で回収するという恥ずべき行為も、こうした戦後の歴史教育の特異性と、決して無関係ではないと思うのである。以上

「中学歴史教科書読み比べについて」

千葉県内の中学歴史教科書の採択状況は、左記のとおりです。
教育出版(船橋、習志野、八千代、香取、神崎、多古、東庄)

帝国書院(市川、浦安)

東京書籍(右を除く市町村)

私共は、この大手三社に加え、自由社の併せて四社の歴史教科書を約二年間に亘って読み比べました。その結果、正しい歴史の記述がなされ、子供が日本の国に誇りの持てる歴史教科書は、自由社の教科書であるとの結論に至りました。そして、この結果を踏まえ、県内の中学生の子供を持つ父兄、並びに教育関係者への周知を図るため、この「中学歴史教科書読み比べ」を不定期に発行し、現在千葉県内で採択されている大手三社の歴史教科書の問題点を明らかにしてゆく所存です。(会員一同)

※バックナンバーご希望の方は、オフィシャルサイトへどうぞ。



徳川家康肖像画
(自由社版中学歴史教科書より)